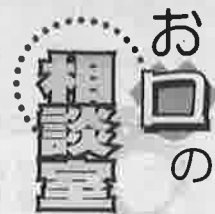


かかりつけ歯科医に相談を



【問い】小学生の子どもがいるのですが、歯が大きくて重なっているところが気になります。いつごろから矯正治療を始めた方がよいのでしょうか。（大村市、34歳女性）

【答え】矯正治療を始める時期については、歯科医師による診断により決められます。

歯が重なる理由として、歯がきれいに並ぶためのスペースが不足していることが挙げられます。その場合、歯が並びスペースを確保するために歯の本数を減らすか、もしくはあごを大きくするというアプローチが必要になります。

一般的に、永久歯が生えそろった段階で、歯を並べるためのスペースがどうしても足りない場合は、抜歯をしてスペースをつくるのが多くなります。これがいわゆる抜歯矯正です。

しかし、乳歯がまだ残っている時期は、あごがまだ成長

期にあるため、あごを大きくするというアプローチによって、歯が並びスペースを確保することができる場合があります。あごの成長を促すことによって、歯を抜かずにきれいに歯が並び可能性もあります。

ただし、早めに矯正治療を始めると、永久歯が生えそろうたときに、どうしてもきれいに並びきれない場合もあり、永久歯が生えそろってから再び矯正治療が必要になることもあります。トータルの治療期間は長くなってしまい、結局は抜歯矯正になってしまう可能性もゼロではありません。

歯並びやかみ合わせは、遺伝的な要素や体の成長、毎日の生活の中での癖などさまざまな要因で変化していきます。それに対応する矯正治療の開始時期や装置もさまざまです。かかりつけの先生に相談して、説明を受け、納得して治療を受けるとよいでしょう。

矯正治療の時期



回答者 武 俊朗
大村市桜馬場2丁目
たけし歯科医院院長

質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します（直接本人に回答はしません）。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒80521-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「80020ながさき」で検索できますので参考にしてください。